

# 報町利由東

9/1

No. 330 昭和57年 9 月 1 日発行 毎月 1 日発行

昭和57年

No. 3 3 0



## “体力”と“和と連帯”づくり

全種目実施は四年ぶり

第十四回町民運動会が八月二十九日、幼児からお年寄りまで約二千三百人が参加して台山グラウンドで行われました。

運動会は、過去三年間雨に見舞われ、三年前が一部種目カット、一昨年中止、昨午が競技途中中止となっており、全種目予定どおり実施は実に四年ぶりとなつて、各選手は、それぞれの種目に大ハッスル。ゴール前のデッドヒートに、身を乗り出しての大声援が台山一帯に響いていました。

競技種目には、一般走や分館対抗リレー、自治会対抗の綱引き、ボール送り、満杯リレー、スウェーデンリレーのほか、風船とり、アメリカ競争、ビヤダるリレーなどといったレクリエーション的なものも取り入れられ、体力づくりと併わせて地域の“和と連帯”づくりにも大いに役立ったようでした。

結果、大琴自治会が総合優勝、蔵自治会が準優勝を果たし、それぞれ大トロフィーを手に入れました。

## 町の 生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



# 祝ご成人おめでとうございます



責任ある大人として船出をした新成人者の面々

## 21世紀発展への原動力に

### 128人が大人の“船出”

成人おめでとう、一日一日を大切に、良い伝統は受け継ぎ、さらに優れた創造を加えて新しい時代を作ってください——終戦記念日の八月十五日、町成人式が有隣館で行われました。

今年の対象者は、昭和三十六年四月二日から三十七年四月一日の間に生まれた人たち百二十八人で、当日は百人が出席し、二十歳の門出を祝い合いました。



「久しぶり〜元気だった」…数年ぶりの再会に喜色満面(受付で)

肩を抱き合って数年ぶりの再会を喜び、旧交を温め合ういっものながらの光景が見られました。

式典は午前九時に始まり、新成人者一人一人が点呼、紹介されたあと、代表の小野俊弘君(宿)に成人証書、高橋春雄君(五海保)、阿部たけ子さん(宮の前)に記念品がそれぞれ町長から贈られました。

続いて、式辞に立った小松町長は「人間は一方だけに向かうものではない。現在の都会集中主義が見直され、農村が見直される時期が必ず来る。日本全体を取り巻く情勢は、複雑かつ困難なものである。しかし、日本人には「活力」と日本人の運命には「ツキ」がまだまだある。本日成

人式を迎えられた皆さんが、郷土東田利、日本が二十一世紀に発展する一つの大きな原動力となることを、心から期待する」と激励。さらに、小野町議会議長からお祝いのことばが述べられました。

これに答え、新町の高橋孝紀君が新成人者を代表し「世の中の移り変わりはこれからますます激しく、私たちの前途はますます険しいといわざるを得ない。しかし、困難が多ければ多いほど、それを克服することによる生きがいを持てる時代といえる。今日以降、大人としての自覚のもとに精いっぱい生きる努力をし、郷土東田利、国家の発展に資せるよう、若いエネルギーを最大限燃焼させていきたい」と力強く誓いのことばを述べました。

このあと、ABS秋田放送解説委員の神永光氏が「人生宿酔い」と題し、約一時間半にわたって記念講演。

「若いエネルギーを最大限燃焼させる」と力強く誓いのことばを述べる高橋さん

という異国の地で第二次世界大戦を経験した少年期を回想しながら、そこで迎えた終戦、そして引き揚げ、戦後の混乱期を経てきた豊富な体験と、情報化時代の最先端にあつて目にし耳にした世相の断面を折りまぜながら「一つを見て全体を判断してはいけない。青春時代はおおきに悩み、悔やむことである。長い人生のうちには、つらく苦しいことや楽しいことなどさまざまある。要は、心の持ち方であり、与えられた時間を有効に生かし、活用して、最後には人生の勝利者となるようがんばってほしい」と語りかけ、出席者に深い感銘を与えました。

正午過ぎ、記念写真撮影を済ませた新成人者たちは、昼食の後、中学時代のクラス別に分かれてそれぞれ同級会。生ビールのジョッキをかたむけながら、近況報告や中学時代の思い出話に花を咲かせ、責任ある大人としての「船出」を祝い喜び合っていました。



「若いエネルギーを最大限燃焼させる」と力強く誓いのことばを述べる高橋さん



## 英霊よ安らかに 312柱の霊に献花



諸英霊の安らかな眠りを祈り、平和への誓いを新たにしたい追悼式

英霊よ安らかに——町戦没者追悼式が、八月二十四日有鄰館で行われました。

日清戦役以降の町出身戦死病死者は三百十二柱。式典に参列した約百二十人の遺族ら

## 新鮮な野菜を安く

### 農近ゼミが青空市場開設

新鮮な野菜を安く地元の皆さんに——町農業近代化ゼミナールの会員たちは、八月十一日、自分たちがつくった野菜類を集め、矢島信用金庫東由利支店向かいの空き地で青空市場を開き、好評を博しました。

この日販売したものは、すいか、かぼちゃ、トウモロコシ、だいこん、茄、じゃがいも、枝豆など二十品目。値段はいずれも市価より三割程度安く、しかも新鮮とあって人気

を呼び、一日で約十二万円を売り上げました。店じまいした会員らは「まずまずの成果。来年は他の生産組織とも連携をとり、販売量、額ともに倍以上に増やしたい」と話していました。



新鮮で市価より三割程度安いとあって人気を呼んだ農近ゼミ青空市場

### 臨時議会

## 大平ヒュッテ工事を議決

### 粗大ごみを収集処理

町議会第六回臨時会は、八月九日に招集され、町立大平ヒュッテ新築工事請負契約の締結について、東由利町廃棄

物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の二件を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

は、さまざまな思いを胸に戦没者の霊に献花、平和への誓いを新たにしました。式場正面中央には、国旗と町旗をバックに「戦没者追悼の標」の標柱が立ち、これを囲むように白菊や黄菊など色とりどりの生花が飾られました。

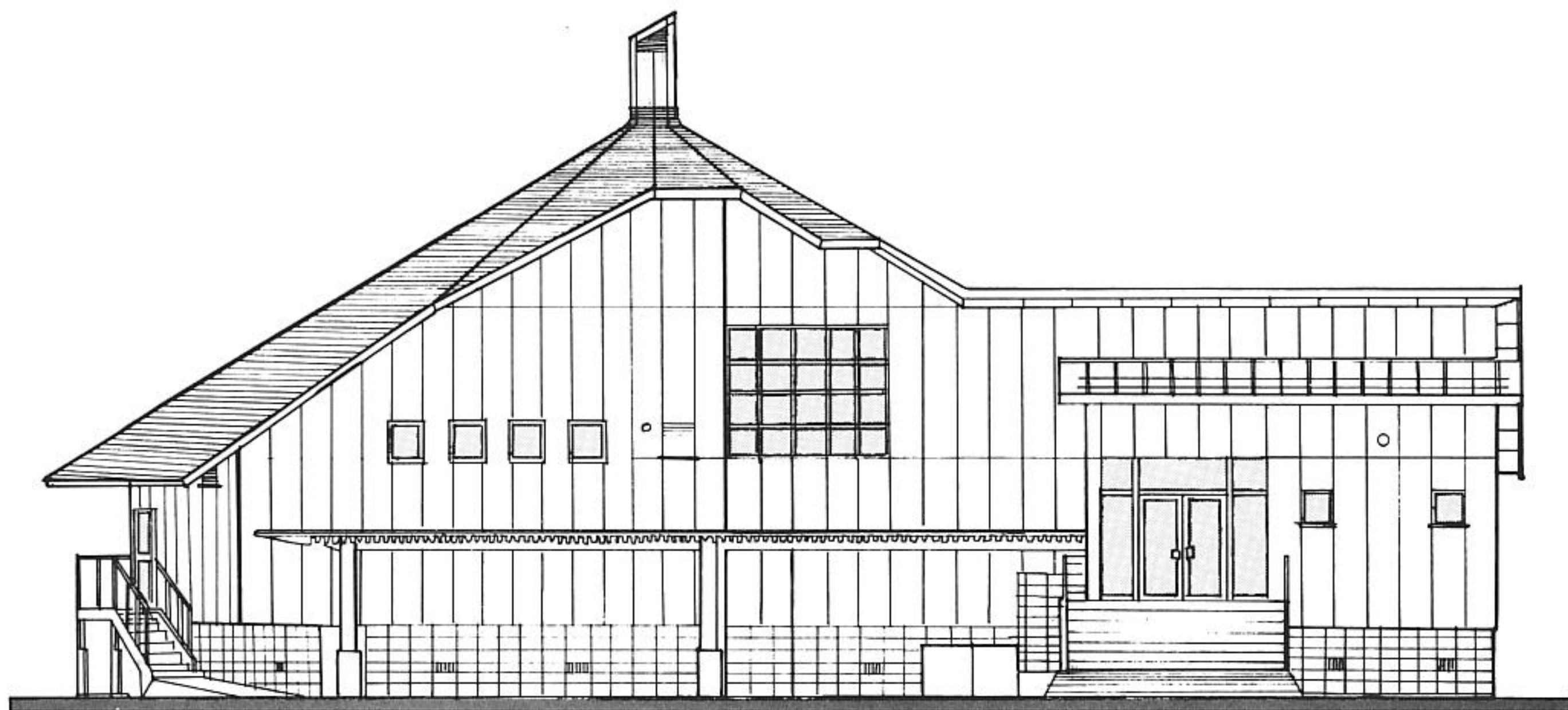
式典は午前十時に始まり、「君が代」斉唱のあと、町長が「今日の我が国の発展、アジア諸国の植民地からの解放、更に世界の平和と繁栄に貢献

する日本の姿は、諸士が身を護国の柱とし、悠久の大儀に殉じた至誠の賜であることを確と信ずるものであり、うやうやしく頭を垂れ、国民追慕の中に靖国の森にとこしえに鎮まりますことをお祈りする」と式辞を述べました。

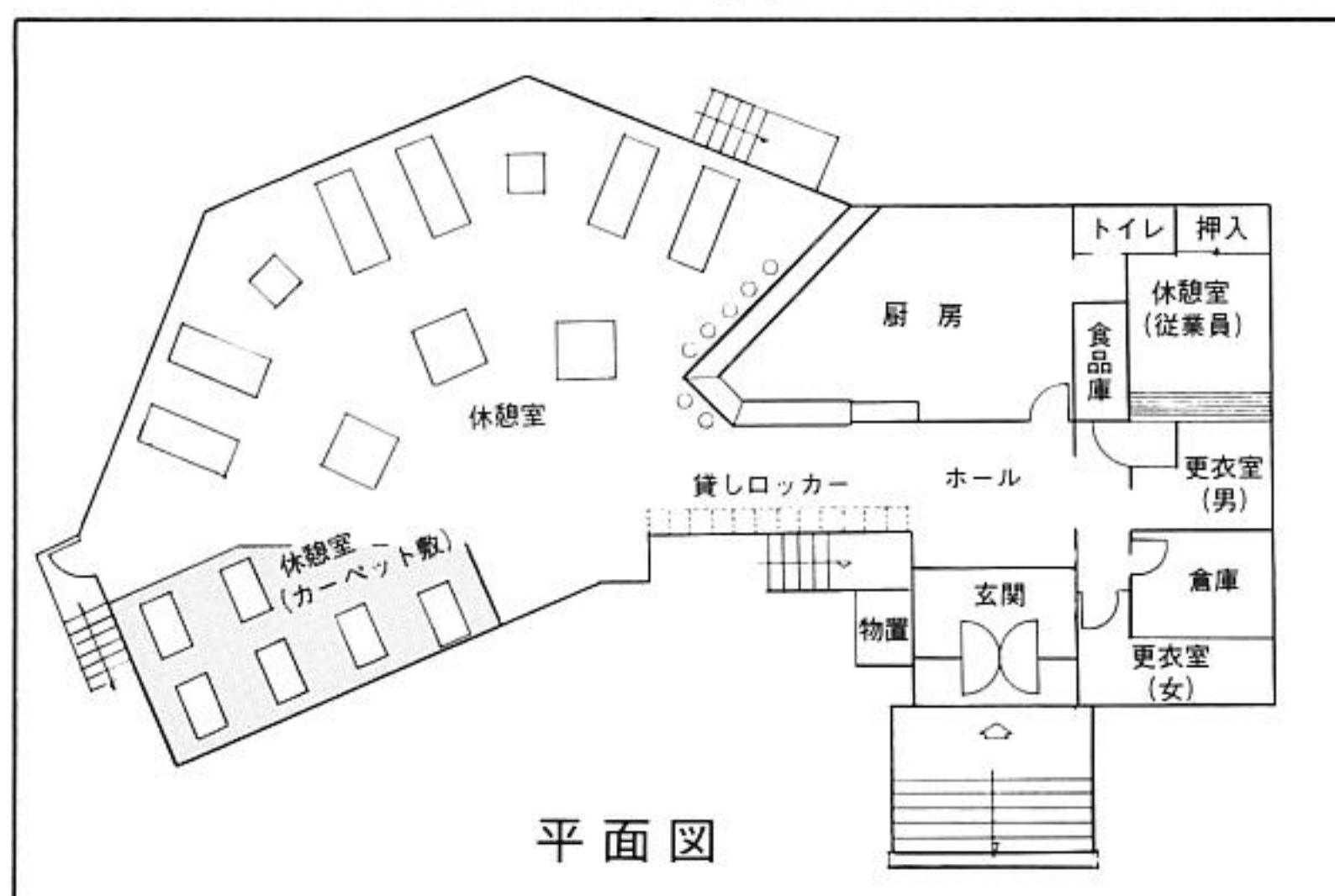
このあと、町議会議長、由利福祉事務所長、市郡遺族連合会長、遺族会代表、戦没者妻代表からそれぞれ追悼のこ

可決案件の概要は次のとおりです。  
【町立大平ヒュッテ新築工事請負契約の締結について】  
○契約の方法 指名競争入札  
○契約金額 三千三百十五万円  
○契約の相手方 株式会社千葉工務店（本荘市、千葉和男代表取締役）  
【町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正】  
町粗大ごみ処理場を館合字カンナ平地内に設け、一般のごみ収集とは別に、地域・期日等を定め、粗大ごみの収集処理をすることにした。  
収集は、不法投棄や二次公害発生を防止するため、町の委託する業者が運搬、処理（破碎等）して投棄する。（収集期日、手数料など詳細については、後日各戸にチラシ配布する。）  
昭和58年歌会始・詠進歌  
お題は「島」  
締切りは10月12日  
昭和五十八年歌会始のお題は「島」と定められました。  
○詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限りです。  
○用紙は、半紙（習字用の半紙「白紙」がよい）とし、毛筆で自書してください。（病氣などで自書できない場合には、代筆しても差し支えありません。この場合は、すべての理由を書いた別の紙を添えてください）  
○書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日及び職業を書いてください。  
○締切、昭和57年10月12日（当日消印有効）  
○作品送付先 〒100 東京都千代田区千代田一番一宮内庁——とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えありません。  
○疑問、詳細については、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月末日までにお問い合わせください。





正面立面図



平面図



工事の安全を祈りクワ入れする町長

## 大平スキー場

## 新 ヒュッテ 一度に八十余人休憩可能

## 冬の「目玉商品」に

町立大平ヒュッテの起工式が、八月二十八日大平スキー場の建築現場で行われました。式には、町、議会、教委、スキークラブ、地元住民、施工業者ら六十人余りが出席。町長と業者代表がクワ入れをし、関係者が玉ぐしをささげて工事の安全を祈りました。昨年十二月、Tバー式簡易

リフトと照明灯を設置した大平スキー場は、本荘由利地区では唯一のナイタースキー場として、また、国道からわずか一キロの近さにあり交通の便も良いこともあって家族連れや勤めを終えた若者を中心に人気を呼び、シーズン中約一万五千人が訪れ、好評を博しました。

その反面、ヒュッテの老朽化や駐車場の確保など、増加するスキーヤーへの対応が不十分な点も指摘され、これら施設と規模の整備拡充を望む声が出されていました。

このため町では、冬季観光の柱として、また同スキー場を郡市のスキー場として位置づけるためヒュッテの新築

ワゲレンデの拡張、ロープウェイの増設、道路の改良、駐車場——など、一連の施設を充実することにしたものです。この起工式を行ったヒュッテは、鉄骨造り平屋建て（一部半地下式）床面積二百八十平方メートル、別棟で木造十八平方メートルのトイレ。ヒュッテの中には厨房が設けられ、休憩室には、一度に八十人余りがゆつくり休憩でき、食事を取りながらゲレンデをながめられるつくりになっています。工事費は、本体部分が三百十五万円、電気、給排水設備合わせて三百六十五万円で、十二月十五日完成の予定になっています。

駐車場は、約二百台収容をめどに整備。ゲレンデについては、今年度から同地区で実施している団体営草地開発整備事業に併わせ、既存のスロープを百メートルほど延ばして長さ三百五十メートルにし、さらに、リフトに向かって右側の斜面も一部修正してスロープ化するものです。

この外、スキー場に連絡する土場沢林道の局部改良を行っています。

観光施設の少ない本町にあって、一連の整備により、小規模ながらも機能をグンと高め、一回り大きくなり利用しやすくなつて今冬お目見えする同スキー場に、関係者は、冬の「目玉商品」として大きな期待を寄せています。



軽井沢線  
大台線  
モデル事業

# 三事業に3,700万円追加



事業の進捗を促し、一年でも早い完成を——と町では、国や県、関係機関に、それぞれの事業について予算枠の拡大、事業費の追加配分を働きかけてきました。この結果、次のとおり、三事業合わせて三千七百万円の事業費追加配分がありました。

- ・農免農道軽井沢線 二千百万円
- ・団体営農道大台線 一千万円
- ・モデル事業 六百万円

これにより、当初二カ年継続事業とみられていました軽井沢線大琴橋かけ替え工事は、今年度中に終了、年末には通行できる見込みになりました。

## 大琴橋は年内完成

大琴から下吹、幅野袖山を通って大吹川に至る五、二六一の農免農道軽井沢線は、昭和五十三年に改良着工され、五十六年度までに、一部災害発生地域を除き幅野、大吹川間の改良舗装が終わっています。

今年度は、当初、下吹、大琴間の改良と大琴橋かけ替え工事費、合わせて九千六百万円の予算がつき、六月から工事が進められています。

しかし、この予算額では、大琴橋にケタをかけるまでできず、橋床や欄干工事が行われ通行できるようになるのは五十八年度予算の結果、年内に完成できることになった大琴橋

ということとで、地域住民の日常生活や産業経済活動に大きな影響を与える情勢にありました。

このため、町では、五十七年度に橋が完成できるよう、事業費の追加配分を関係機関に強く要請、今回の追加をみたものです。

現在、工事は、下吹地内の改良が終わり、大琴橋の橋台工事が進められています。

工程表によりますと、九月二十日には橋台のコンクリート打ちが終わり、十月二十五日には下部工事全体が完了の

## 団体営農道大台線

## 今年は八〇〇〇メートル改良

団体営農道整備事業として今年から改良工事を進めています。

大台線に、このほど一千万円の事業費追加配分があります。

予定になっています。

上部工事については、十月十五日から二十日までにケタの架設を終え、橋床、欄干工事をを行い、十一月二十日には全体が完了。その後、橋床のコンクリート養生期間を三週間ほどみて、十二月十日過ぎ、悪天候などにより多少工事が遅れたとしても同月下旬には通行できる見込みとなっています。

地域住民の皆さんにはたいへんご不便をおかけしてありますが、事情ご理解のうえ、ご協力をお願いするものです。

した。この結果、当初計画した大谷地側から五〇〇メートルの改良が、さらに三〇〇メートル程度延長できる見込みになりました。

同線は、農免農道根小屋線から大谷地を経て、大台分校下を通り大谷地に至る延長二、六八〇メートルの路線で、四カ年計画で全幅五メートル、車道幅員四メートルに改良舗装するものです。総事業費は一億八千八百万円を見込み、このうち六五％は国と県からの補助金です。

同線が完成すれば、幅員三メートル程度の道路が迷路のように入り組んでいる大台集落内の幹線路として点在する民家を一つの路線で結ぶことになり、本来の農道としてのメリットだけでなく、生活関連道路としても地域発展に大きく貢献するものと期待され、一日も早い完成が待たれています。



集落内の幹線路として大きな期待が寄せられている大台線改良工事（大谷地地内）



## パワーズAが初優勝 第24回町社会人野球大会



念願の優勝旗を手にしたパワーズAチーム

お盆の恒例行事となった町野球協会の主催する社会人野球大会は、今年も八月十六日から三日間、町民、台山、横渡（初日のみ）の各グラウンドで行われました。

昨年から町民グラウンドに整備を進めてきました本部棟、ダッグアウト、内野フェンス等の完成祝いも兼ねた今大会には、年々高まる野球熱を反映してこれまで最高の二十九チームが参加し、連日熱戦を繰り広げました。

決勝は、初優勝を目指すパワーズAと二年ぶり三度目の優勝をねらう役場の対戦。

試合は、準決勝で常勝野球狂を下し意気揚がるパワーズ

賞は次のとおりです。

### 準決勝

役場 0 0 0 0 0 2 2  
高瀬 0 0 0 0 0 1 0

パワーズA 0 2 0 0 0 2 1  
野球狂 0 0 4 0 0 0 0

役場 1 0 0 1 1 3 0 0  
高瀬 0 0 0 1 0 0 0 0

パワーズA 1 0 0 1 1 3 0 0  
野球狂 0 0 4 0 0 0 0 0

役場 1 6  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

役場 1  
高瀬 1

パワーズA 6  
野球狂 4

## 町長日記

三年続きの冷害かと不安に思っていました。残暑が幸いして、平年並の作況が期待される昨今です。

先般、首相の諮問機関である農政審議会から「八〇年代の農政の基本方向の推進について」と題する報告書が出ましたが、その内容の要点は「水田の生産性が発揮できるように、加工用、飼料用の他用米の開発によって、稲作の存続を計る。

農家構造は、中核農家を拡大し、現在の百三万戸から七十万戸の体制にする。兼業農家をグループ化して地域農業集団をつくる。米の生産費は、一ト当たり現在の二十二万円から十一万円へと試算する」以上のようであります。

水田は我が国の気候風土から必然的なものであり、狭い耕地の保存上も有利な条件であります。米食の減

退から、減反の全てが畑地化は疑問のあるところ。価格、生産費の問題があるにしても、他用米が早期に実現することを期待します。

中核農家の拡大は生産性向上の方ではあるが、農地の集積が課題であるとともに、つきつめると、人の生き方の意識にもつながり、経済効率だけでは計られない問題を持っています。

五十七年度の国の財政は、景気が回復しないために税収入が予算通り入って来ない。五、六兆円の歳入不足のようであります。

結局は、国債発行となりましょう。歳出の減額も行われると思います。その中で、新聞報道によりますと地方交付税交付金の減額というとも言われています。

このような国の事情は地方自治体にも影響して来るものと思います。

われ、熱戦の末、横浜市から帰省中の畠山品侶さん（茂沢出身）が十二勝一敗でみごと初優勝を飾りました。

二位は、阿部力さん（十二の前出身、本莊市）三位は、小野松雄さん（蔵新田）でした。

## 東由利の地名

=27=

谷地をはじめとして、大谷地・上谷地・須郷田谷地などと、谷地のつく小字名は二十近くあるが、部落としては、黒沢と若林の間に大谷地がある。

この谷地の地名は、上と下にいろいろとつけ加えたものも入ると、全国的にある名のようなのである。谷地のほかに野地と書いてるものもある。

やちははじめじめした湿地を意味している言葉だが、今ではほとんどの地が土地

改良や河川改修などによって、昔のおもかげはなくなっている。

谷地に使っている谷は、もともとはへ（水を意味している）と口（泉の湧き出るところ）との合わさった漢字で、水が湧き出て山と山との間を

### 谷地（やち）

とおり、川に入るまでの間を意味しておった。それがのちに山と山との間の意に変わって使われるようになった。したがって谷のように水があつていつもはじめじめしている土地を、谷地と呼ぶようになったのでないか。アイヌ語のヤ

チも湿地を意味しているようである。

例えば、田代字のヨシヤチはヨシがうんと生えている湿地だったのでないか。大谷地部落の谷地は、地層とその中をとる水脈の関係からか地すべりの起る地で、先年地すべり対策の工事が行われた。したがって地すべりが何回か起き、流れがせきとめられたりしての谷地（湿地）だったのでないか。なお、大谷地と隣りの大落・大台が共に大がついているのはどんな関係か、興味深いものがある。

（文・畑山昭一）

## 優勝は畠山さん

### 第一回夏季全町将棋大会

町将棋愛好会（小野松雄会長）の主催する第一回夏季全町将棋大会が、八月十五日役場二階会議室で開かれました。参加資格は、この日町内にいる人であれば年齢、性別、



# 9月のこよみ

陰暦異名・長月(ながつき)  
誕生花・なでしこ(貞節)  
誕生石・サファイヤ(節操、真実、道德)

| 曜   | 日 | 行                                | 事 |
|-----|---|----------------------------------|---|
| 1   | 水 | 三種混合予防接種(朋楽荘)                    |   |
| 2   | 木 | 婦人科検診(有鄰館)                       |   |
| 3   | 金 | 乳児健康診査( )                        |   |
| 4   | 土 | 県畜産共進会(～6日、河辺町)                  |   |
| ⑤   | 日 |                                  |   |
| 6   | 月 | 民生委員協議会(朋楽荘)<br>出稼者検診(八塩館)、婦人科検診 |   |
| 7   | 火 | 出稼者検診(有鄰館)                       |   |
| 8   | 水 | 々( )                             |   |
| 9   | 木 | 々(大蔵館)、婦人科検診                     |   |
| 10  | 金 | 々(高瀬館)                           |   |
| 11  | 土 |                                  |   |
| ⑫   | 日 |                                  |   |
| 13  | 月 | ことぶき大学、婦人科検診                     |   |
| 14  | 火 |                                  |   |
| ⑮   | 水 | 全国和牛能力共進会(～20日、福島県)              |   |
| 16  | 木 | 循環器二次検診、町政座談会(袖山分館)              |   |
| 17  | 金 | 々                                |   |
| 18  | 土 |                                  |   |
| ⑰   | 日 |                                  |   |
| 20  | 月 | 婦人科検診、民税(2期)督促状発送                |   |
| 21  | 火 |                                  |   |
| 22  | 水 | 検尿                               |   |
| ⑳   | 木 |                                  |   |
| 24  | 金 | 献血                               |   |
| 25  | 土 |                                  |   |
| ㉑   | 日 |                                  |   |
| 27  | 月 |                                  |   |
| 28  | 火 |                                  |   |
| 29  | 水 |                                  |   |
| 30  | 木 | リハビリ学級                           |   |
| 摘 要 |   | 31日 国保税(2期)納期限<br>下旬 9月定例議会招集    |   |

## 玉米小の模型も展示

### 県教育史資料展を開催

県教育振興会では、藩政期から昭和二十六年ごろまでの本県の教育史資料展を次のとおり開催します。「県民皆学の努力(明治期)」の部門で本町の玉米小(現東由利農協玉米支所購買)の模型が展示

○中央地区 9月7日～12日  
県生涯教育センター(秋田市山王)  
○県北地区 9月17日～21日  
大館市中央公民館

県では、婦人問題に関する明治以降の資料を充実するため、秋田の風土に生きた、それぞれの時代の婦人の生活体験を綴った生活記録文を募集

〔応募資格〕 満二十歳以上で、県内での生活体験を有する婦人。  
〔主題〕 ①明治に生きて ②大正のめざめ ③昭和の嵐 ④戦後の自立  
〔副題〕 主題に沿って自由にテーマを設定。  
〔原稿〕 四つの主題のうちから一つを選び、副題をつけて、四百字詰原稿用紙六枚以内にまとめてください。  
〔締切〕 昭和57年10月30日

## おしらせ

### 町の概要

人口総数 6,302人  
うち男 3,109人  
うち女 3,193人  
世帯数 1,444戸  
面積 148.51km<sup>2</sup>  
(57.7.31現在)

## 終戦当時の引揚者の方々へ

通貨 証券 などをお返ししています

税関では、お預りしている次の通貨・証券などをお返ししています。

◎終戦後、外地から引き揚げ

◎外地の集結地において総領

事館などに預けられた証券などのうち日本に送還されたもの。  
※返還の申し出は、ご本人ばかりでなく、ご家族の方でも結構です。お心当たりの方は、上陸港を所轄する税関または最寄りの税関へお問い合わせください。

しています。

〔応募資格〕 満二十歳以上

## 太田さんから謝礼

町報ありがとう

(土) 当日消印有効  
〔送付・問い合わせ先〕  
〒 秋田市山王四丁目一番一号 秋田県青少年婦人課内「秋田県婦人生活史生活記録文」募集係 (電話 〇一八八―六〇―一三三五)

## 〇うぶ声

7月21日～8月20日受付

## 慶弔だより

さん(本町新町出身)から金一封が届けられました。

## 社福だより

社会福祉の増進に役立てて  
―と、本荘市の佐々木栄雄

町では、町外に住む町出身者で希望する方に毎月町報を送っています。このお礼としてこのほど、北海道別海町の太田辰夫さん(蔵新田出身)から二万円が届けられました。どうもありがとうございます。

## ・お悔み申し上げます

小松 広徳 須郷田 22歳  
小松 萬登 松柴 63歳  
高橋サダエ 久保 73歳

小松重衣 下通 二郎 長女  
佐藤明美 向田 太智雄 長女  
佐藤麻美 〃 〃 二女  
阿部幸恵 大琴 譲治 長女  
加藤知華 板戸 洋三 二女  
遠藤真由美 下小路 寛 長女  
鈴木弘和 舟木 文一 長男  
佐藤美杉 館西 謙 二女  
鈴木祐介 大琴 誠治 長男  
阿部直子 小倉 弥松 長女  
鈴木俊太郎 大琴 一廣 長男

## 統計で見るわが町 ④

### 就業率(総人口当たり)

| 市町村名 | 順位 | 指 標   |
|------|----|-------|
| 東由利町 | 1  | 58.8% |
| 由利町  | 2  | 57.2  |
| 金浦町  | 3  | 56.4  |
| 仙北町  | 4  | 56.2  |
| 県平均  |    | 49.7  |
| 天王町  | 69 | 44.9  |

昭和55年10月1日・総理府統計局「国勢調査」  
(注) 総人口に占める就業者数の割合。

### 第1次産業就業者比率

| 市町村名  | 順位 | 指 標   |
|-------|----|-------|
| 大 湯 村 | 1  | 87.0% |
| 仙 南 村 | 3  | 54.1  |
| 東由利町  | 4  | 53.8  |
| 皆瀬村   | 5  | 53.0  |
| 県平均   |    | 23.7  |
| 秋 田 市 | 69 | 5.2   |

昭和55年10月1日・総理府統計局「国勢調査」  
(注) 1. 第1次産業就業者数を「就業者総数」で割ったもの。  
2. 第1次産業は、農業、林業、狩猟業、水産養殖業の合計。



連帯の輪

鳥海山の

大自然と  
ふれあう

自然観察会

鳥海登山の会

9月19日は家庭の日